

第8回小児がん拠点病院連絡協議会 九州・沖縄ブロックの取り組み

九州大学病院

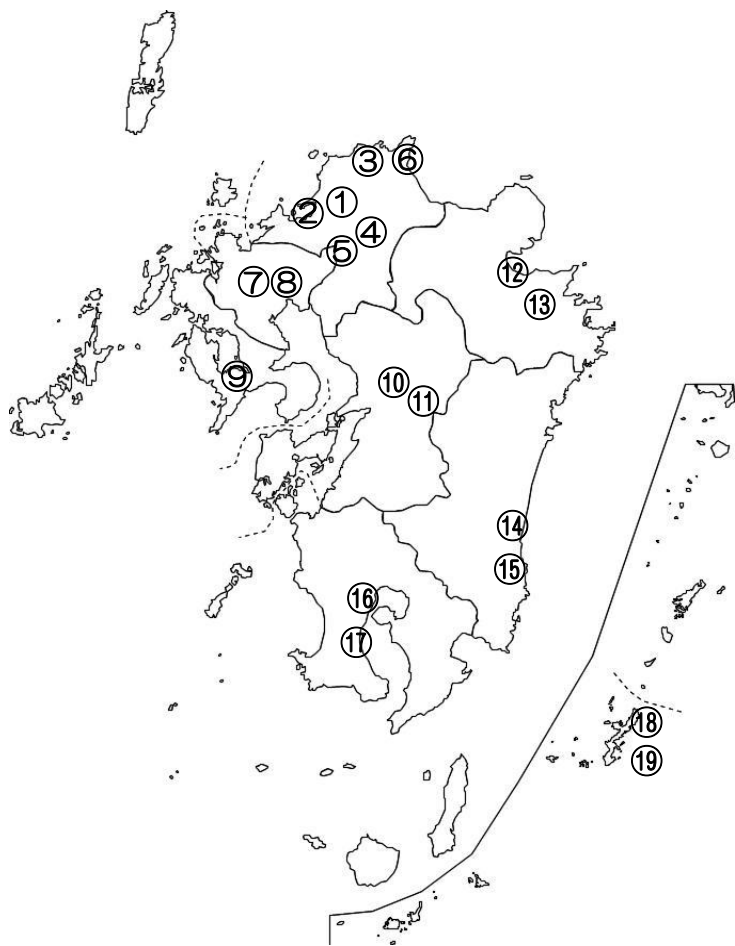
小児外科 教授

田口 智章

小児科地域連携小児医療学講座 准教授

古賀 友紀

九州・沖縄ブロック小児がん医療提供体制協議会の構成



施設選定基準

- 各都道府県がん診療連携拠点病院
- 各県の小児がん診療病院

県名	病院名
福岡県	1. 九州大学病院
	2. 独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
	3. 産業医科大学病院
	4. 久留米大学病院
	5. 福岡大学病院
	6. 北九州市立八幡病院
佐賀県	7. 佐賀大学医学部附属病院
	8. 佐賀県立病院好生館医療センター
長崎県	9. 長崎大学病院
熊本県	10. 熊本大学医学部附属病院
	11. 熊本赤十字病院
大分県	12. 大分大学医学部附属病院
	13. 大分県立病院
宮崎県	14. 宮崎大学医学部附属病院
	15. 宮崎県立宮崎病院
鹿児島県	16. 鹿児島大学病院
	17. 鹿児島市立病院
沖縄県	18. 琉球大学医学部附属病院
	19. 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

平成29年度小児がん拠点病院ネットワーク事業 ～活動報告～

九州・沖縄地域
小児がん医療提供体制協議会の開催（年2回）

九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会
相談支援部会の開催（年1回）

平成29年度

九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会開催報告

	第10回	第11回
開催日	平成29年9月9日（土）	平成30年2月24日（土）
参加施設数	18施設	16施設
参加人数	23名	33名

※第10回、11回ともにオブザーバーとして福岡県より1名の列席あり

小児がん医療提供体制協議会の主な内容

- 小児がん拠点病院
連絡協議会
相談支援部会

中央機関
協議会
報告



- ブロック内TV会議報告
- 相談支援事業報告
- 小児緩和ケアチーム活動報告

ブロック内
活動報告



審議事項
その他

- 協議会参加施設の追加
- 宿泊費補助
- 患者団体について

研究
治験等

- 松本班 班会議報告
- 小児がん関連の治験

平成29年度 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 第2回相談支援部会開催報告

開催日	平成29年11月17日(金)
参加施設数	19施設
参加人数	31名
参加職種	医師・看護師・社会福祉士・CLS



相談支援部会の主な内容

中央機関セミナー

小児がん中央機関の
役割と
各地域ブロックの役割
～ビジョンとゴール～

小児がん拠点病院 多職種セミナー

多職種による
患者家族への
退院・社会復帰支援
-各職種の立場から-

グループ討議

多職種による
退院・社会復帰支援
case studyを通じて



平成29年度小児がん医療従事者研修事業 ～活動報告～

- 九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院テレビ会議の開催
- 小児がん中国・四国ネットワーク会議への参加
- 九州山口小児血液・免疫・腫瘍研究会
- 九州山口小児がんセミナー
- 九州地区小児固形悪性腫瘍研究会
- 小児緩和ケアに関する勉強会の開催

九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院テレビ会議

【開催日程】 毎月第4月曜日、16時～17時

【参加施設】 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会所属施設、広島大学
(合計21施設)

【平成29年開催実績】 9回 (休会月：8月、H30年2,3月)

主要内容	回数
研修カンファレンス	3回
症例提示	8回
アンケート討論会	9回

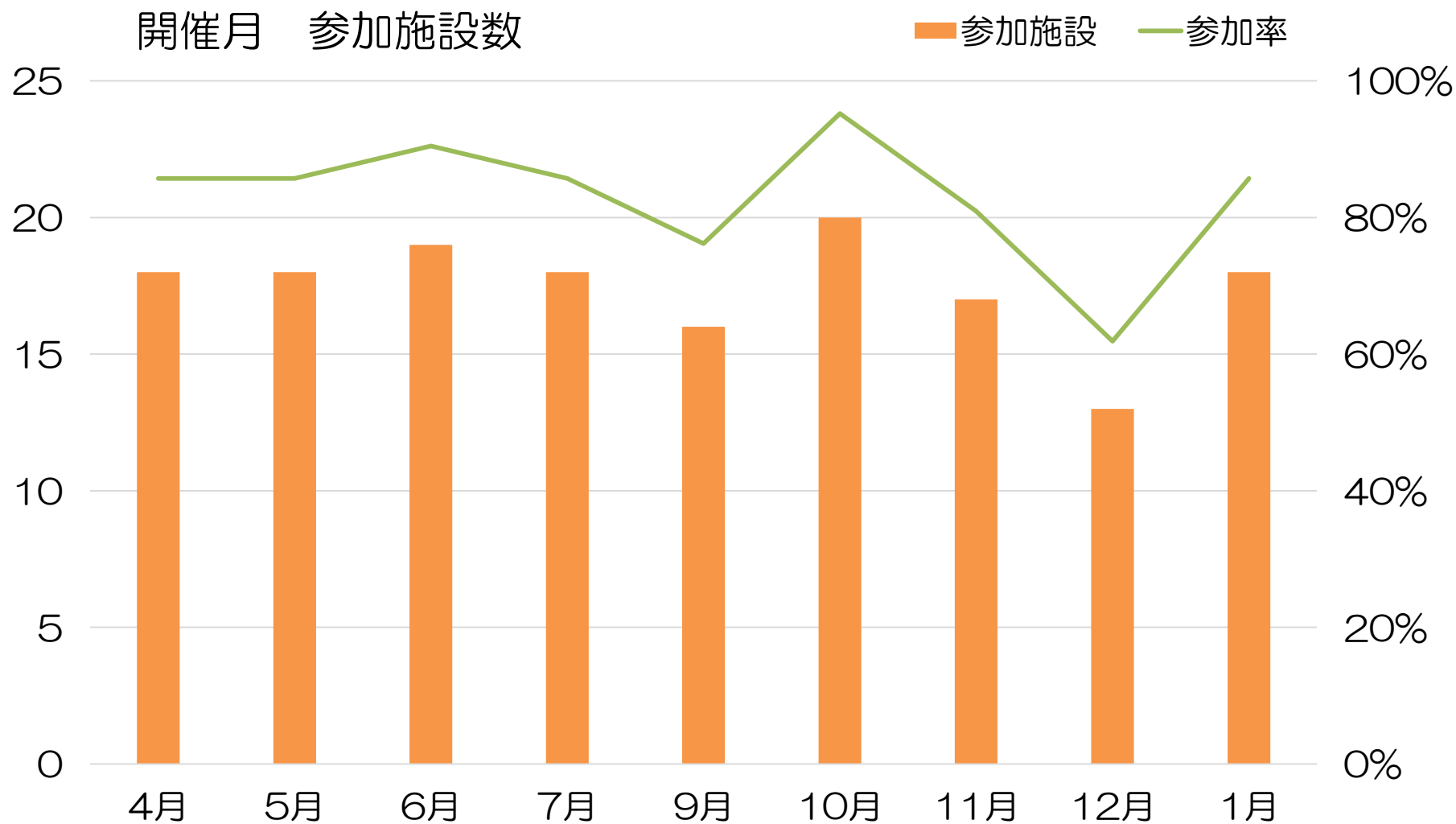
設問1 設問2 設問3 **設問4** 設問5 設問6

原疾患治療の延期・中断が必要な症例がありましたか？

●九州大学
●鹿児島大学
●福岡大学
●沖縄県立南部・こども医療センター
●県立宮崎病院
●広島大学
●産業医科大学
●大分大学
●佐賀大学
●北九州市立八幡病院
●久留米大学
●熊本大学

熊本赤十字病院	精神症状の回復を待つため
琉球大学	投薬拒否、飛び降り (多発骨折)
宮崎大学	症例1: 7本抜歯しており、創処置のため治療延期
	症例2: 徘徊行動のため安静が保てず、治療延期
	症例3: 意思の疎通ができない状態となり、治療延期
長崎大学	

九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院テレビ会議

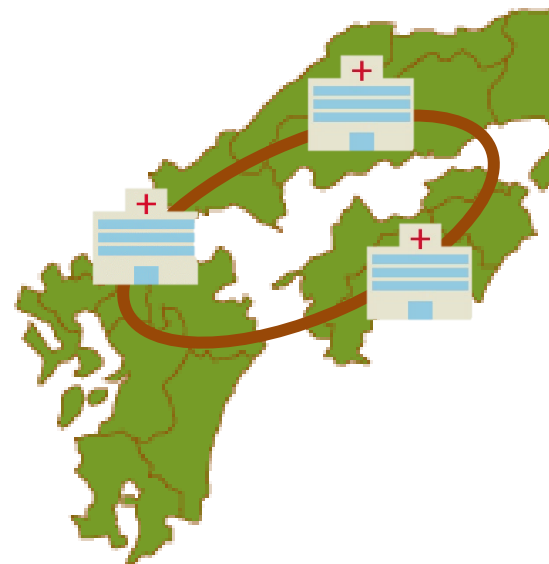


小児がん中国・四国ネットワーク会議に参加

【開催日程】 毎月第4水曜日

※平成29年2月より中国・四国ブロックのテレビ会議に参加

会議	参加数/開催数	内容
小児がん ネットワーク会議	7回/10回	症例検討
小児がん 看護カンファレンス	9回/9回	事例検討
小児がん 相談支援部会	2回/2回	情報共有 意見交換



九州山口小児血液・免疫・腫瘍研究会

【開催日】平成29年9月9日（土）10：20～18：15

【会場】九州大学医学部 百年講堂 中ホール1・2

プログラム

●第1部 一般演題

●第2部 特別講演

〈九州山口小児血液・免疫・腫瘍研究会/がんの子どもを守る会合同企画〉

●第3部 一般演題・特別講演

参加職種	人数
医師	43名
看護師	63名
計	106名

九州山口小児血液がんセミナー

【開催日】平成29年9月10日（日）9：00～12：00

【会場】九州大学医学部 総合研究棟2階1Tルーム

プログラム

演者	所属	演題
石井榮一先生	愛媛大学医学系研究科 医学専攻病態制御部門 小児医学 教授	教育講演1 「乳児白血病： 病態解明と治療の進歩」
本田裕子先生 ほか	産業医科大学小児科	一般演題1-1 「急性リンパ性白血病の治療中にEBウイルス初感染を きたし、血球貪食症候群を発症した一例」
後藤洋徳先生 ほか	大分大学 小児科	一般演題1-2 「NUP98-HOXC13融合遺伝子を有するAMLの 1小児例」
小田義直先生	九州大学大学院 医学研究院形態機能病 理学 教授	教育講演2 「小児軟部腫瘍における分子病理とその治療への応用」
野村優子先生 ほか	福岡大学 小児科	一般演題2-1 「脳幹部に発症したGerminomaの1例」
桐野泰造先生 ほか	長崎大学 小児科	一般演題2-2 「左前腕部滑膜肉腫の乳児例」

九州地区小児固形悪性腫瘍研究会 九州地区小児固形悪性腫瘍委員会（同日開催）

【開催日】平成30年2月24日（土）9：00～12：00

【会場】九州大学医学部 総合研究棟2階1Tルーム

会議	主な内容
小児固形悪性腫瘍委員会	小児固形悪性腫瘍登録状況報告 専門医制度について 小児がん患者団体活動報告
小児固形悪性腫瘍研究会	研究発表：16 特別講演テーマ 「小児がんと臨床研究過去、現在、未来」

小児緩和ケアに関する勉強会

九州大学病院にて開催

開催日	演題・演者	参加人数
5月9日（火）	「致死的小児外科疾患」 九州大学病院 小児外科 准教授 木下義晶先生	34名
7月4日（火）	「小児医療現場におけるDNAR指示について」 九州大学病院 小児科 (西南女学院大学 保健福祉学部) 笹月桃子先生	38名
9月19日（火）	「小児の栄養について ～食べることは、生きること～」 九州大学病院 栄養管理室 山口貞子先生	24名
12月1日（金）	【特別講演】 「いのちの終わりについて話し合いを始める -質の高いケアのために-」 神戸大学医学部附属病院 緩和支援診療科 特命教授 木澤義之先生	130名
1月16日（火）	「事例を通して周産期医療における 緩和ケアを 想像してみる」 総合集先母子医療センター 福岡県小児等在宅医療推進事業 落合正行先生	33名
3月27日（火）	「臨床の現場で感じたこと、出来ること」 九州大学病院 小児科 特任助教 大場詩子先生	17名

平成30年度九州沖縄ブロック事業計画

●ネットワーク事業

開催内容	開催予定
小児がん医療提供体制協議会の開催	年2回
小児がん医療提供体制協議会相談支援部会の開催	年1回

●研修会事業

	開催内容	開催予定
NEW	「小児がんのこどもの教育を考える講演会」の開催	年1回
NEW	九州・沖縄ブロック小児が看護ネットワーク会議の開催	年3回
	九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院テレビ会議の開催	年12回
	九州山口小児血液・免疫・腫瘍研究会	
	九州小児がんセミナー	
	九州地区小児固形悪性腫瘍研究会 九州地区小児固形悪性腫瘍委員会	
	小児緩和ケアに関する勉強会の開催	年6回

平成30年度 九州・沖縄ブロックの新たな取り組み①

「小児がんのこどもの教育を考える講演会」の開催

【日程・会場】

平成30年8月18日（土）13：00～16：40 九州大学病院 総合研究棟

【目 的】

近年閣議決定された第3期がん対策推進基本計画では、小児、AYA世代のがん患者支援、ライフステージに応じたがん対策が、取り組むべき施策に位置づけられました。

小児がんのこども達が生きる時代となり、同世代の児と同等に社会を謳歌するために、彼らの闘病生活中、治療後の「教育」は重要な役割を担っています。医療関係者、親の会など各種団体ならびに教育関係者が協力して、本問題に向き合うシステム構築が必要です。

今回の講演会では、多職種で語り、問題提起を行い、今後につなげたいと考えています。

【対象者】

小児がん医療従事者・教育関係者・小児がん患者、家族

【定 員】

100名（参加費無料）

平成30年度 九州・沖縄ブロックの新たな取り組み②

九州・沖縄ブロック 小児がん看護ネットワーク会議の開催

【目的】

- 九州・沖縄地域のテレビネットワーク回線を利用し、小児がん診療連携病院間で、情報交換、共有を行い小児がん看護に携わる看護師の連携を深める。
- テーマについて検討することで小児がん看護実践の均てん化を図る。

【平成30年度の実施計画案】

年間テーマ

「末梢静脈ライン、PICCなどの固定の方法と観察を含めたルート管理について」

開催回数：年3回

開催月：7月、11月、3月

協力依頼施設：19施設